

つきさっぷ町連だより

【月寒地区広報誌 第16号】

発行日：令和4年11月25日

発行元：月寒地区町内会連合会（町連）

豊平区月寒中央通7丁目8-19

月寒まちづくりセンター内

電話・ファクス 852-9288



60年に向かって

月寒地区町内会連合会会長 山田 重孝

コロナ禍で1年延期していた創立50周年記念式典が無事終了してホッとしたところです。部分的には反省点も多々ありますが、皆さんの御協力のおかげで全体的には大成功だったと思っております。関わった方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。終わって間もなく新型コロナウイルス感染者が爆発的に増え、道内で1万人に手が届くところまでになり、第8波の襲来です。それを考えるとタイミングにも恵まれていたのですね!!

式典でも申し上げましたが、札幌市が目指している2030年のオリパラ招致、反対意見が多く大変なようではありますが、何とか成功させていただいて、月寒地区の新たな発展につなげてほしいと考えています。月寒体育館の移転に伴う跡地の利用、選手村の市住への転換など夢が大きく膨らみます。どのような変わり方をするのか楽しみです。

11月4日、月寒地区と東月寒地区の町内会長さんが出席して第1回の除雪連絡協議会が開催され、4年度の除雪体制等について説明がありました。昨冬の大雪を踏まえた対策が示され、活発な質疑応答もなされました。パートナーシップ除排雪も今までどおり実施することを確認しております。

50周年が終わって安心していましたが、時は止まることを知らずにどんどん過ぎていきます。「時は人を待たず」、月寒町連は既に60年に向かって歩み始めているのです。また皆さんの力で月寒の歴史の一ページを刻んでいきましょう。

町連創立50周年を盛大に祝う

+1で記念式典を開催

前日からの晴れ間も残り、秋空が心地よい10月29日、町連創立50周年記念式典が午前11時から月寒公民館体育室において開催されました。

町連は、昭和46年11月20日に創立された、月寒から平岡、有明、里塚に至るまでの広大な範囲の「月寒地区町内会長連絡協議会」を起源にしています。昨年、50周年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症拡大によって、記念式典の開催を1年延期していました。

当日は、芝井静男豊平区長や町連顧問を務める高木宏壽衆議院議員ら49名の来賓のほか町内会の会長や役員など、120人余が参列して50周年を祝いました。

式典では、来賓の祝辞の後、月寒地区のあゆみを振り返るスライドの上映や月寒東小学校・月寒小学校合唱団による「月寒（つきさっぷ）の少年」など5曲の合唱が披露されました。【関連記事を2面に掲載】



月寒東小学校・月寒小学校合唱団の皆さん

地域の発展に寄与 町内会長らに表彰状

町連は、たくさんの方々を支えられて、また、皆さんと一緒に、住みよいまちづくりを目指して活動を続けています。記念式典において、そうした方々へこれまでの御協力・御尽力に対して、会長から表彰状を贈呈しました。

町連役員や町内会長を長く務められた方々(下段に氏名を掲載)を代表して、会長歴40年超の豊友会池下誠会長が表彰状を受け取り、「長く務められたのは地域の皆さんのおかげ」とこれまでの活動を振り返られていました。



表彰を受け謝辞を述べる池下会長

記念誌制作に助成金

札幌日信電子(株)

町連50周年記念誌を制作するにあたり、札幌市市民まちづくり活動促進助成金(さぼーとほっと基金助成金)を通して、札幌日信電子株式会社(若林秀博社長/月寒東4-8)様から御支援をいただきました。

感謝の意を表するため、記念式典において同社へ感謝状を贈呈しました。

若林社長は「地域に愛される企業としてこれからもさまざまな形で共に歩んで参りたい」と述べられました。



感謝状を受ける若林札幌日信電子社長

表彰状受賞者の皆さん

【町連役員(部長以上)歴5年以上の方】

三佐川令子さん、小柳敏彦さん、山田重孝さん、山田良一さん、田中俊英さん、池田良子さん、東重満さん、秋元靖巳さん

【町内会長歴10年以上の方】

池下誠さん、原田吉春さん、鵜嶋健治さん、中鉢聡さん、小柳敏彦さん、富山徳晴さん、大泉健治さん、山岡二郎さん、湊宣昭さん、鎌倉伯男さん、木保昌雄さん、平川隆さん、上野芳子さん、横田一夫さん、福井榮子さん、三宮厚夫さん、今野美智子さん、松浦弘充さん、品田秀利さん、横川幹夫さん、森下玉枝さん、田中幸子さん、三澤功さん、三佐川壽春さん

《以上32人・順不同》

「夏休みだよ!したっけ、みんなで集まるかい」～西月寒団地の取り組み

西月寒団地(月寒西4-9)は、高齢化が進む170戸の団地。週1回、駐車場で10名が集まりラジオ体操を行っています。自治会が無く、住民間の交流機会が少ないため、「子供を誘って多世代交流を」と夏休みのラジオ体操を企画。併せて、移動販売「あおぞら市」を実施し、期間限定ながらも35人の“集いの場”となりました。これをきっかけに、住民主体で団地の高齢化を考えたり、ランドセルの譲渡や移動販売で購入した野菜を高齢者と分け合ったりと、“支え合い”が育まれました。

この活動が認められ、10月、厚生労働省主催「私のまちの『通いの場』自慢コンテスト」新しい通いの場アイデア&実践部門で優秀賞を受賞しました。



▼持ちよった景品を体操参加者に贈りました

▼表彰状を掲げる活動メンバー



掲載写真はいずれもコロナ禍前のものです

ご近所であたたかな交流が 生まれています！

昨今は少子高齢化、核家族化や近隣関係の希薄化により、地域での孤立が増加しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛ムードも相まって、ここ3年は高齢者のみならず、若い世代でも孤立してしまう事例も相次いでいます。

「ふれあい・いきいきサロン」では、地域の方々が気軽に参加できる居場所として、孤立を防ぐことや、日ごろから地域でみんなが繋がりづくりをすすめています。

サロンに参加することで、仲間づくりや生きがいづくり、健康づくりやストレス解消、生活に役立つ情報の交換などを行うことができます。

「ふれあい・いきいきサロン」
つて、なあに？



「茶話会」で日々の情報交換

【誰もが参加できるサロン】 ※一部年齢制限あり

*月寒大東サロン @月寒東会館 ※開所は降雪状況による

月2回（第1・3日曜日）10:00～14:00

*いきいきサロン「逢」 @月寒集会所

月2回（第1・3土曜日）12:30～16:30

（左上段からつづく）

月寒地区には、どのようなサロンがあるのか気になりますよね。

町内会に関係なく参加できるサロンや町内会員に限定したサロンがあります。

詳しくは別表の通りです。



簡単な体操などもみんなでやってみます

（右中段からつづく）

その他にも NPO 法人で行っているサロンもあります。にじ色フリースペース（月寒東3-7）では月2回、ねっこぼっこの家（月寒東3-6）では週4回、参加対象を限定せず、多世代が集える居場所づくりを目的に行っています。

地域での孤立を防ぐためにも、まずは、近所付き合いや日ごろからの住民同士で見守り合うことが大切です。その第一歩としてお近くのサロンに足を運んでみてはいかがでしょうか。気になるサロンがありましたら、是非、**豊平区社会福祉協議会（815-2940）**までお問い合わせください。

（この記事は同協議会の松下凜太郎さんにお寄せいただきました）

【会員限定サロンを運営している町内会】

- *月寒一区町内会
 - *月寒二区町内会
 - *月寒F4町内会
 - *笑福3自治会
 - *月寒東4条8丁目西町内会
 - 月寒東4条第一町内会
 - 月寒東5条8丁目親和会
 - 月寒東5条9丁目町内会
 - *月寒七区第一町内会
 - *クリーンリバー月寒東町内会
- 合同

夏の風物詩「フェスタつきさっふ」開催



▲ビンゴ大会で盛り上がる会場
▼飲食ブースも設置



雨天延期の翌7月18日、つきさっふ中央公園で「フェスタつきさっふ」が、会期を従来の2日間から1日のみに短縮して開催されました。感染症対策のため例年の約半分のとなりましたが、縁日コーナーや飲食コーナーなど7店が軒を連ねました。

町連女性部による「月寒音頭」の披露に始まり、「フラワー・オークション」では観葉植物など大小40余りの鉢植えが飛ぶように売れました。

午前11時にスタートし、約600人が訪れた「フェスタつきさっふ」は、盛大なビンゴ大会でフィナーレを迎え、夕方午後5時に幕を閉じました。

親子ふれあいコンサート、新たな試みで開催

10月2日、第34回親子ふれあいコンサートが月寒公民館体育室で開催され、演奏する児童・生徒など200人余りが日ごろの成果を披露しました。

これまで、地域の住民や児童・生徒の父母などが会場で鑑賞していましたが、コロナ禍に応じた新しい形でのコンサートとして、観客は入れず、その代わりにインターネットによるライブ配信を行いました。

閲覧した方々からは「参加した本人にも見せたい」といった声も寄せられ、感染予防という目的以外の効果もありました。



▲YouTubeでの配信画面

▼出番を待ちながら演奏を鑑賞する参加者

編集後記

昨年度から実施した一連の50周年記念事業も記念式典の開催で終了することができた。町連会長をはじめ役員・町内会長を先頭に関係諸氏の御協力と御支援を受け、成功裏に実施できたことを心から感謝申し上げたい。コロナ禍でいろいろな制約がある中でも、ほぼ満足いただけた成果を挙げられたのではないだろうか。今後は60周年を目指し、組織を充実させながら地域を盛り立てていきたい。【だ】

令和5年月寒地区新年交礼会 中止のお知らせ

毎年1月8日に開催している「月寒地区新年交礼会」は、今年同様、中止することに決まりました。

新年恒例の行事で、楽しみにされている方も多いと思いますが、感染症が拡大傾向にある中、気兼ねなく懇談・飲食する状況には無いため、止むを得ず中止の判断をしました。再開を楽しみに待ちましょう。



令和二年一月に行われた新年交礼会の様子

子どもカルタ大会も中止に

ホワイトジャンボフェスタも



例年、多くの小学生が参加して、いろはカルタや百人一首をチ

ームで競い合う「子どもカルタ大会」。令和2年の開催以降中止が続き、今年こそは、と検討していましたが、感染症拡大を受けて、中止が決定。

また、1月下旬の「ホワイトジャンボフェスタ」も、アイスキャンドルを除き中止となりました。

みんなで感染症の広がりを抑えて、再来年お会いしましょう。

月寒地区の”いま”
(令和4年10月1日現在)
人口 : 38,200人
世帯数 : 21,764世帯
町内会数 : 77町内会